

筑後川水系の渇水状況について

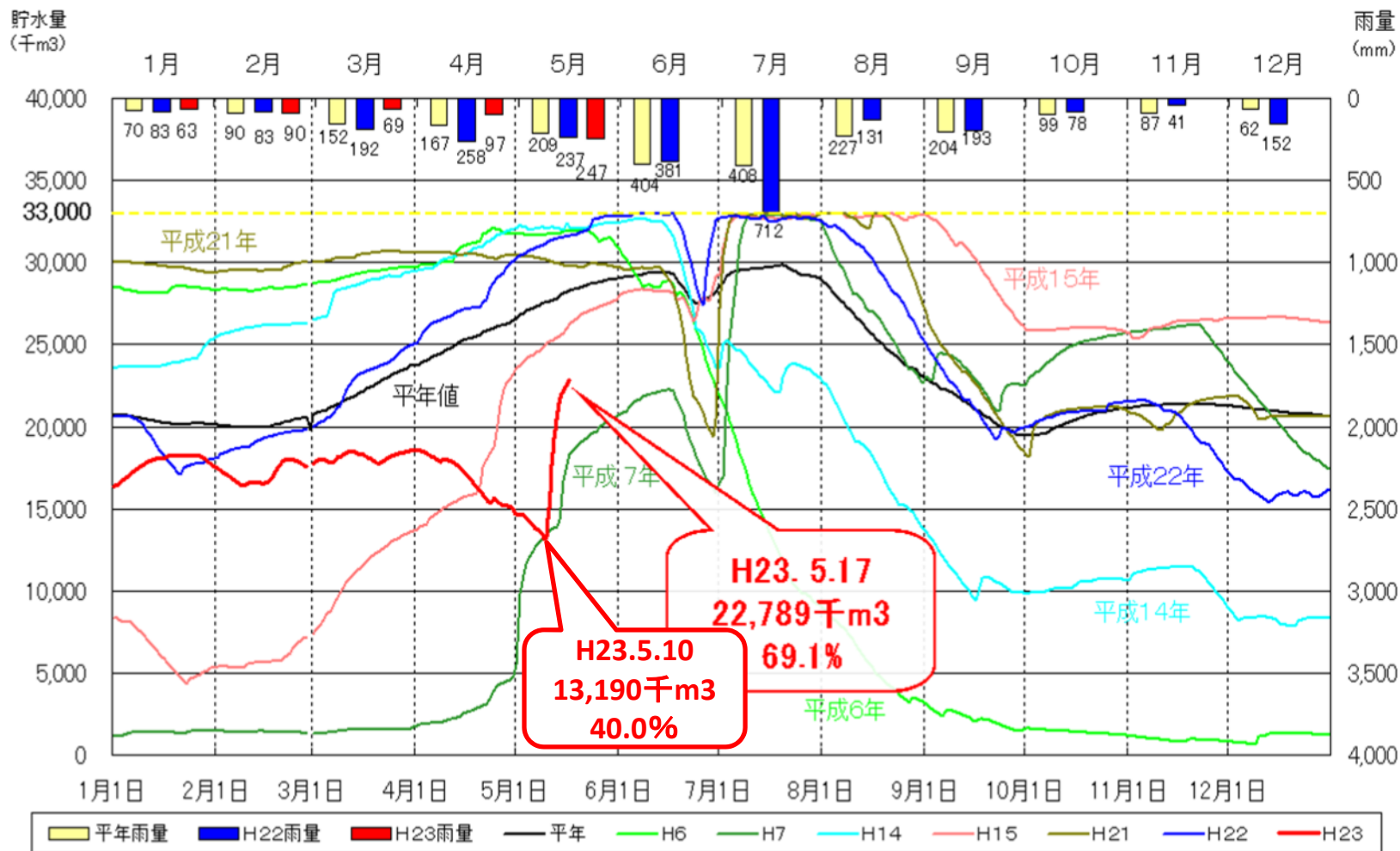
■江川・寺内ダムの降雨及び貯水状況

- 1～2月 ・ 降雨量は平年並み
 - ・ 2ダムの貯水率は、平年の約9割とやや低い程度
- 3～4月 ・ 例年では、300 mm以上の降雨で貯水量は回復
 - ・ 今年の降雨量は平年の5割程度
 - ・ 2ダムの貯水は回復せず、4月で貯水率が5割を下回る
- 5月 ・ 貯水率は、5月10日に今年最低の4割まで低下
 - ・ 同日夜半から、上流域に240 mm程度の降雨
 - ・ 貯水は回復に向かい、5月17日現在の貯水率は7割弱

■渇水対策について

- ・ 平成22年 11月26日 自主節水開始：福岡地区水道企業団（10%）
- ・ " 12月4日 自主節水強化：福岡地区水道企業団（20%）
- ・ " 12月22日 自主節水開始：佐賀東部水道企業団（3%）
- ・ 平成23年 2月1日 自主節水解除：佐賀東部水道企業団（0%）
- ・ " 4月19日 自主節水強化：福岡地区水道企業団（30%）
- ・ " 4月21日 自主節水開始：佐賀東部水道企業団（5%）
- ・ " 4月25日 第1回筑後川水系渇水調整連絡会開催
 （4月26日から）取水制限：福岡地区水道企業団（40%）
 佐賀東部水道企業団（5%）
- ・ " 4月25日 渇水対策本部設置（九州地方整備局）
 →平成14年渇水（※）以来9年ぶり
 ※平成14年渇水：H14.9.30：本部設置～ H15.5.1：本部解散
- ・ " 5月10日 第2回筑後川水系渇水調整連絡会開催
 （5月12日から）取水制限：福岡地区水道企業団（55%）
 佐賀東部水道企業団（5%）

江川・寺内ダム合計貯水量及び平均雨量



記者発表資料

平成23年度第2回筑後川水系渇水調整連絡会の合意事項について

1. 基本方針

4月25日の第一次渇水調整以降、福岡地区水道企業団、福岡県南広域水道企業団及び佐賀東部水道企業団は、取水制限の強化や他の水利使用者からの水融通を受け統合的に水を運用するとともに、水道事業者等や関係行政機関と共同で住民等に対し節水を呼びかけるなど、節水対策・効率的な水利用に努めてきたが纏まった降雨もなく、江川・寺内ダムの貯水量は更に低下しているという状況にある。

一方では、福岡県南広域水道企業団においては筑後川以外の自己水源が極めて厳しい状況となっている。

よって、これまでの少雨状況、ダム貯水量の状況等の現状に鑑み、各水利使用者間の総合的な水運用のために第一次渇水調整に引き続き、今回、第二次渇水調整を行うものである。

2. 第2次渇水調整事項

- ①. 福岡県並びに佐賀県は、今後も水道事業者等に対し取水制限の強化及び更なる域内水源の活用を指導し、水道事業者等とともに節水の啓発活動等を行うものとする。
- ②. 第一次渇水調整で活用することとした容量に加え、新たに約170万トン在三企業団で活用するものとする。
- ③. 福岡県南広域水道企業団の自己水源である八女水源の調整池の貯水量が厳しい状況であることに鑑み、三企業団は本渇水調整で統合運用することとしたダム容量を活用し、必要に応じて水融通を図るものとする。

問い合わせ先	
内容	
調整事項について	筑後川水系渇水調整連絡会事務局 九州地方整備局 河川部 TEL (092) 471 - 6331 (代表) (092) 476 - 3522 (夜間直通) 水政課 (092) 476 - 3525 (夜間直通) 河川環境課 水政課 水政調整官 丸山 和文 建設専門官 井上 和博 内線 (3515) 内線 (3556) 河川環境課 河川環境課長 宮成 秀一郎 課長補佐 中村 星剛 内線 (3651) 内線 (3652)
福岡県について	福岡県 県土整備部水資源対策課 (092) 643-3205 課長補佐 松島 桂一 (内線 4342)
佐賀県について	佐賀県 県土づくり本部 河川砂防課 水資源調整室 0952-25-7183 副室長 青戸 泉
ダムの容量等について	独立行政法人 水資源機構 利水者サービス課 0942-34-7001 課長 松倉 恒和